

北に育つ

北海道稚内養護学校
学校便り
令和元年6月28日発行
第2号
発行者 高橋 好則



「令和最初の運動会、優勝は赤組でした！」

今年度の運動会はすでに練習が始まった時期から天候も良く、元気に運動をするのには適しており恵まれていました。しかし、6月に入ってからは稚内らしい涼しさと声問特有の風に戻ったものの、順調に繰り返し練習に取り組めたことで当日も各競技に自分の力を表すことができました。今年度は各学部にも新入生もおり、すぐにはできなかったことでも、練習を積み重ね家族の前で力を出せたことは児童生徒達にとって大きな自信になったことでしょう。一人ひとりが真剣に前に進もうとする姿がとても印象的であり、短い間にも成長した姿を感じていただければ幸いです。

本校の運動会ではすでに定番になった応援合戦や、児童生徒と保護者が一体になった小玉リレー、全校で紅白に分かれて取り組む大玉はこびなど、各学部種目を含めどの競技も最後まで勝敗の行方に注目をした接戦になる競技が多く、最後の最後まで大きな歓声が響きわたりました。演出効果ではなく、みんなが力を合わせ日頃からの練習の成果とたくさんの応援や熱い眼差しを浴びてより一層の力を得て競技に取り組んだ結果であると感じています。昨年度の平成最後と令和の始めを赤組が勝ち連覇になりましたので、次年度は白組の挽回を期待しています。

父母や家族の皆様には玉入れなど競技の参加、たくさんの温かい声援や励ましを受け、御協力のおかげで盛り上がりのある運動会ができたことを感謝しています。

【運動会総括 児島伸幸】

最大限の力で自ら取り組んだ小学部種目

小学部種目は、「走って、運んで、応援して！～太鼓の音色で運動会を盛り上げよう～」と題して行われました。練習では、回数を重ねるごとに、子ども達それぞれが内容を理解し、取り組みがスムーズになり、自信をもって競技に臨めるようになってきていました。

本番は、児童が自分の力を最大限に発揮して、一生懸命取り組んだ姿が印象的でした。それぞれの課題を自分の力でクリアして、チームで見事に走りきりました。本番という緊張感の中、競技と向き合い、自らの力を発揮できた児童たちの姿に大きな成長を感じました。

【小学部 安田洋介】





れい「わ」ではじまる、仲間の「輪」

中学部の生徒が、型はめ、トンネルくぐり、ローラーボード、トスバッティングマシーンを使ったボール飛ばし、そして運命のさいころ等を組合せた競技に取り組みました。

生単期間では、生徒全員が繰り返し練習をして競技のコツをつかみ、その成果を運動会本番で十分に発揮することができました。白組が勝利しましたが、最後までどちらが勝つか分からないほどの熱い戦いが繰り広げられました。

当日は、自分たちができる目一杯の力を出しきり、最後まで諦めない姿が見ている方々の心に刻まれたと思います。

【中学部 竹内大輔】



「高等部種目 ボトル運びリレー2019」

赤組松本君の「赤組いくぞ!」、白組阿部さんの「がんばるぞ!」の闘志あるかけ声を皮切りに、グラウンドに響いた生徒たちの「おー!!」のかけ声。それぞれの気持ちの高まりを感じさせるスタートとなりました。

練習の過程では、設定時間内に出番が全員に回らなかった状況からスムーズな動きへの変化が見られました。渡す側・受け取る側が互いのことを考えてつなぐには…を考えて試し、他にもペアの相手考えた動きをした生徒、友達への応援や励ましの声が自然にあがった熱気ある対戦練習…が印象に残っています。

生徒個々の様々な臨み方がある行事の取組をとoshi、互いを認め合い、小さな「できた」を積み重ねたことが、日々の生活の根につながることを期待しています。

【高等部 竹本千鶴】

